

nanoBT2 OBD 検査用取扱説明書

スナップオン・ツールズ株式会社



V 1.00

- 目次 -

| | |
|--|----|
| 1. ご使用の前に | 4 |
| 1-1. 付属品の確認 | 4 |
| 1-2. 製品仕様 | 4 |
| 1-3. 各部名称 | 5 |
| 2. OBD 検査の準備 | 5 |
| 2-1. 「特定 DTC 照会アプリ」がインストールされた Windows PC(またはタブレット) | 5 |
| 2-2. インターネット接続環境 | 5 |
| 2-3. アップデート | 6 |
| 2-4. J2534 Utility のインストール | 7 |
| 3. OBD 検査の開始 | 8 |
| 3-1. 本体の準備 | 8 |
| 3-2. 本体を車両に接続 | 8 |
| 3-3. J2534 Utility の操作 | 9 |
| 3-1. 特定 DTC アプリの起動 | 11 |
| 3-2. 車両情報入力 ならびに 検査要否確認 | 11 |
| 3-3. 本体の準備 | 11 |
| 3-4. 本体を車両に接続 | 11 |
| 3-5. PC (またはタブレット) に USB ケーブルを接続 | 11 |
| 3-6. 「特定 DTC アプリ」検査 (確認) 実行 | 12 |

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

使用上の注意

- 本製品の正しい使用方法以外で発生した損害については、一切の責任を負いかねます。
- 必ずパーキング・ブレーキを確実にかけ、車輪止めを行い車両の点検を行ってください。
- 周囲が囲まれている空間でエンジンを作動させたまま点検を行う際は、必ず十分な換気を行ってください。
- 本製品を車両に接続する際は、車両のイグニッションスイッチが OFF の位置にあることを必ず確認してください。
イグニッションスイッチが ON の位置で接続すると、本体やプログラムを破壊する恐れがあります。
- 車両の診断コネクタにしっかりと接続されていることを確かめてから、ご使用ください。
- 本製品に同梱のクイックスタートガイドを参考にユーザー登録およびアップデートを行ってからご使用を開始してください。
- 本製品のみで OBD 検査は行えません。OBD 検査においては、別途独立行政法人 自動車技術総合機構より提供されている「特定 DTC 照会アプリ」がインストールされたインターネット接続可能な PC（又はタブレット）が必要になります。


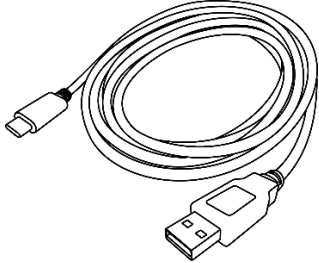
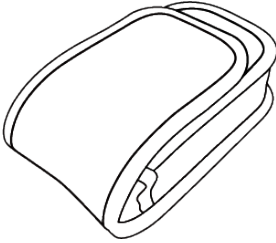
禁止事項

- 濡れた手で、本製品にふれないでください。
- 本体およびケーブル等を水に濡らしたり、衝撃等を与えたりしないでください。
- 本製品を分解・改造しないでください。
- 本体のコネクタ部に異物を入れないでください。
- 本製品を直射日光が当たる場所や高温になる場所または、炎天下の車室内に放置しないでください。

1. ご使用前に

1-1. 付属品の確認

ご使用前にすべての製品が揃っていることを確認してください。
万一、不足の品がありましたらお手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

| | | | |
|---|---|--|----------------------|
|  |  |  | ・クイックスタートガイド (1部) |
| nanoBT2 本体 | USB Type C ケーブル (3m) | ソフトケース | 書類 |


1-2. 製品仕様

| | |
|--------------|---|
| 製品名 | nanoBT2 OBD 検査用スキャンツール |
| 型式 / 型式試験番号 | NANO BT2 / JASEA-KS-51 |
| サイズ (mm) | W 61 x D 29 x H 110 |
| 重量 (g) | 120 |
| 対応通信プロトコル | ISO9141/ISO14229/ISO14230/ISO15031/ISO15765/ISO13400/SAEJ1979 |
| ファームウェアバージョン | 1.85 |
| ドライババージョン | 1.09 |
| 車両との接続 | 無線 (Bluetooth) / 有線 (USB Type C~Type A) |



・OBD 検査使用時は『特定 DTC 照会アプリ』がインストールされたインターネット接続可能な Windows PC (またはタブレット) が別途必要です。

1-3. 各部名称

| | |
|---|--|
|  | ① DLC (OBD2 コネクタ) 接続コネクタ 車両側 DLC コネクタへ接続します。 |
| | ② ステータスランプ 車両側 DLC コネクタに接続すると青色に点灯。 その後、緑⇄青色が交互に点灯します。(通信待機状態) 通信状態により変化します。 |
| | ③ USB ポート ゴムカバーを開いて USB Type C ケーブルを接続してパソコン と通信を行います。 |
| | ④ 銘板ラベル (本体裏面) 本体シリアル番号が記載されています。 |

2. OBD 検査の準備

2-1. 「特定 DTC 照会アプリ」がインストールされた Windows PC(またはタブレット)



※本体と PC を有線で接続される場合、PC (またはタブレット) は Type A の USB ポートが装備されたモデルまたは変換アダプタをご用意ください。

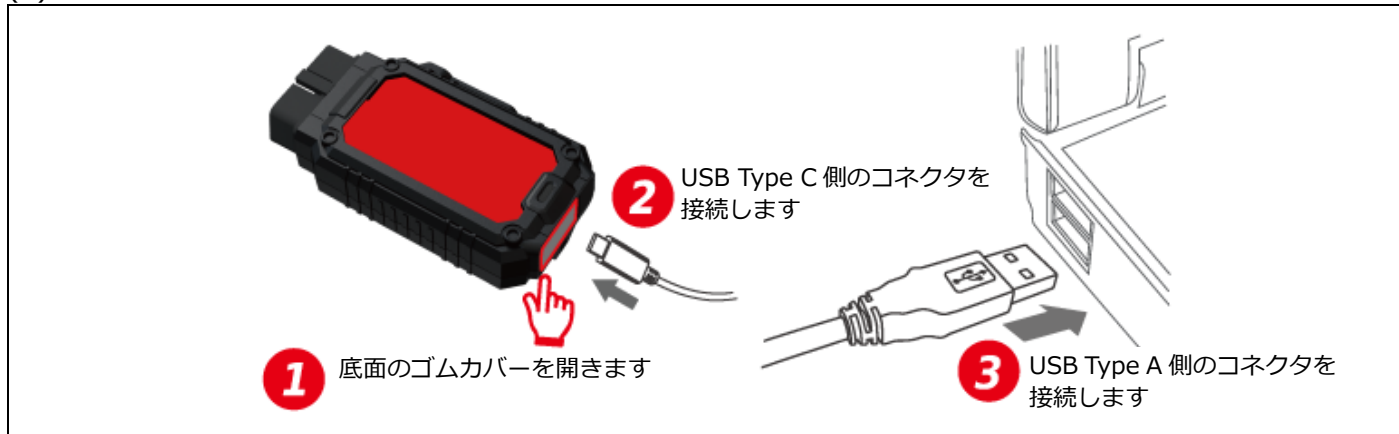
2-2. インターネット接続環境



・有線または無線でインターネット接続が可能であることを確認してください。

2-3. アップデート

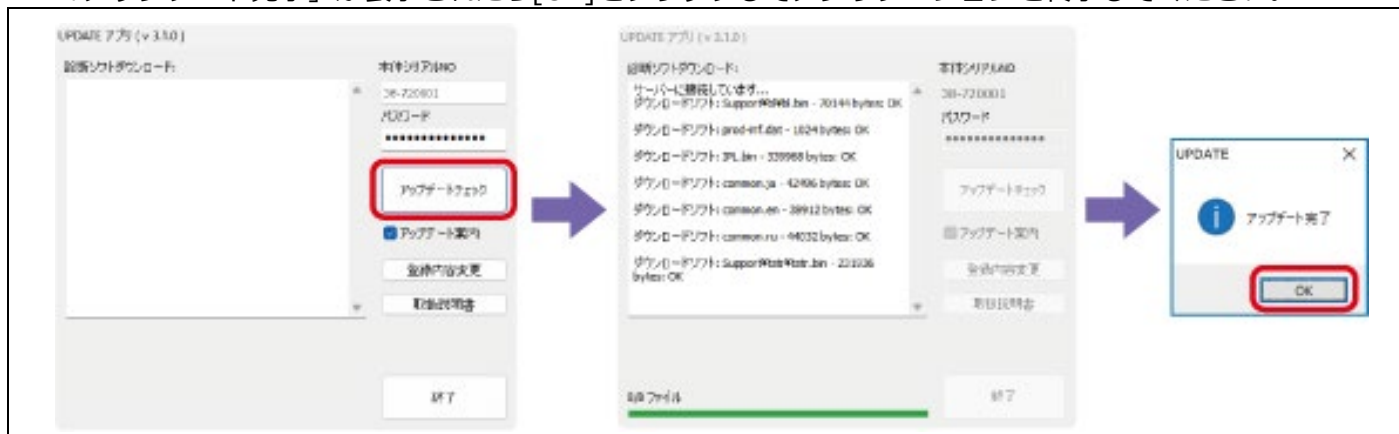
- (1) nanoBT2 クイックスタートガイドを参考にユーザー登録をしてください。
- (2) 付属のUSBケーブルを使用して本体のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。



- (3) 認識すると通知が表示されますのでクリックして「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックし本体内のファイルを表示させます。
「UPDATE.exe」(アプリケーション) をダブルクリックして実行してください。



- (4) 「Update アプリ」の[アップデートチェック] ボタンをクリックするとダウンロードが始まり、本体内にデータが保存されます。
「アップデート完了」が表示されたら[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。



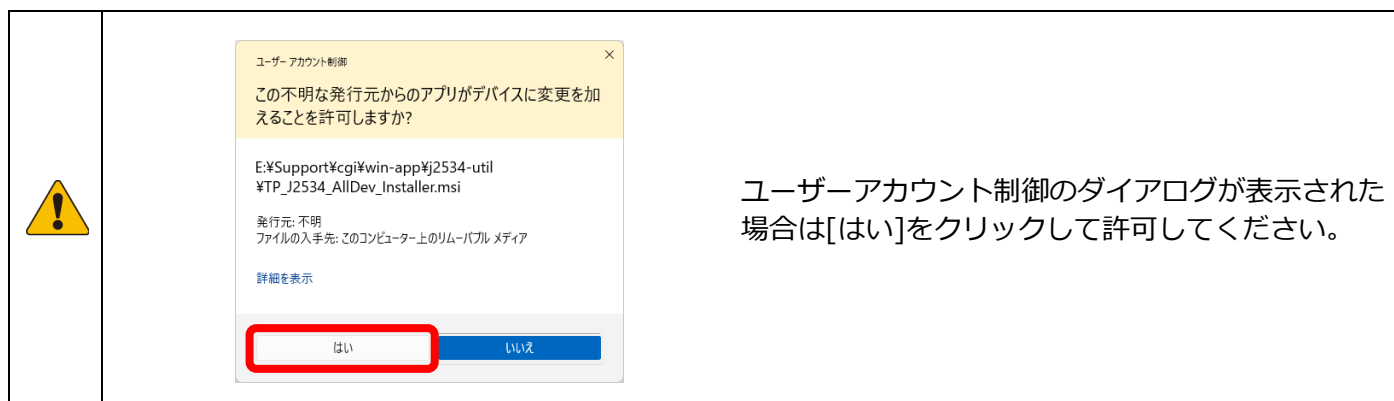
- (5) 「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して I/F をパソコンから取り外してください。

2-4. J2534 Utility のインストール

- (1) 2-3.(2)と同様に、付属の USB ケーブルを使用して本体の USB ポートとパソコンの USB ポートを接続します。
- (2) 2.3.(3)と同様に、「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックし本体内のファイルを表示させます。
- (3) 「support」 → 「cgi」 → 「win-app」 → 「j2534-util」の順にフォルダー開き、「setup.exe」ファイル（.exe は拡張子）を起動します。



- (4) インストーラー起動後、表示される選択/確認画面の [次へ] をクリックし、インストールを進めます。

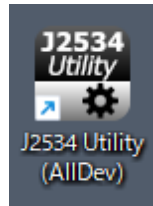


ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。

- (5) インストールが進み、完了したら[閉じる]をクリックして終了します。



- (6) インストールが完了するとデスクトップに「J2534 Utility」のショートカットが生成されます。
※インストール完了後、「ハードウェアの安全な取り外し」から「OBD II SCAN TOOL の取り出し」を実行したのち、パソコンから取り外してください。



3. OBD 検査の開始



- ・有線または無線でインターネット接続が可能であることを確認してください。



- ・「特定 DTC 照会アプリ」の詳細は『OBD 検査ポータル』を参照ください。
独立行政法人 自動車技術総合機構 『OBD 検査ポータル』
特定 DTC 照会アプリ
<https://www.obd.naltec.go.jp/mainte/manual/>

3-1. 本体の準備

【無線 (Bluetooth) 接続の場合】

- (1) PC (またはタブレット) の Bluetooth 設定を ON にしてください。

【有線接続の場合】

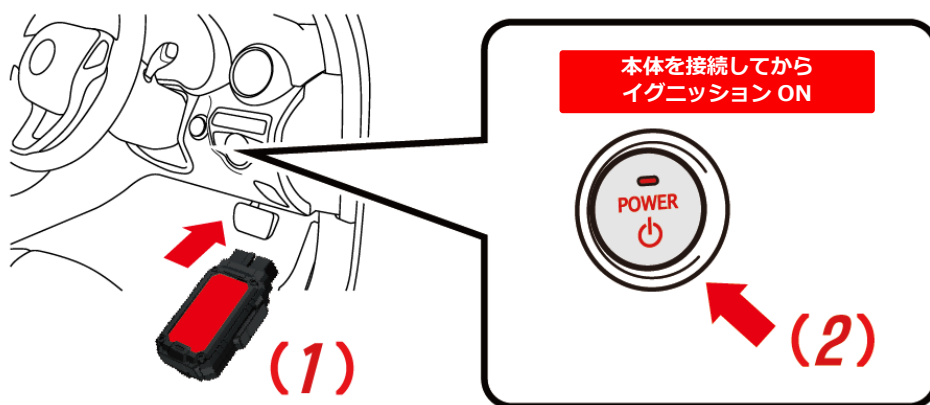
- (1) 本体底面のカバーを開いて、USB ポートに付属の USB Type C ケーブルを接続します。



- ・この時点では、まだ PC (またはタブレット) に接続しないでください。
接続順序を誤ると正常に動作しません。
・必ず付属の USB ケーブルを使用してください。

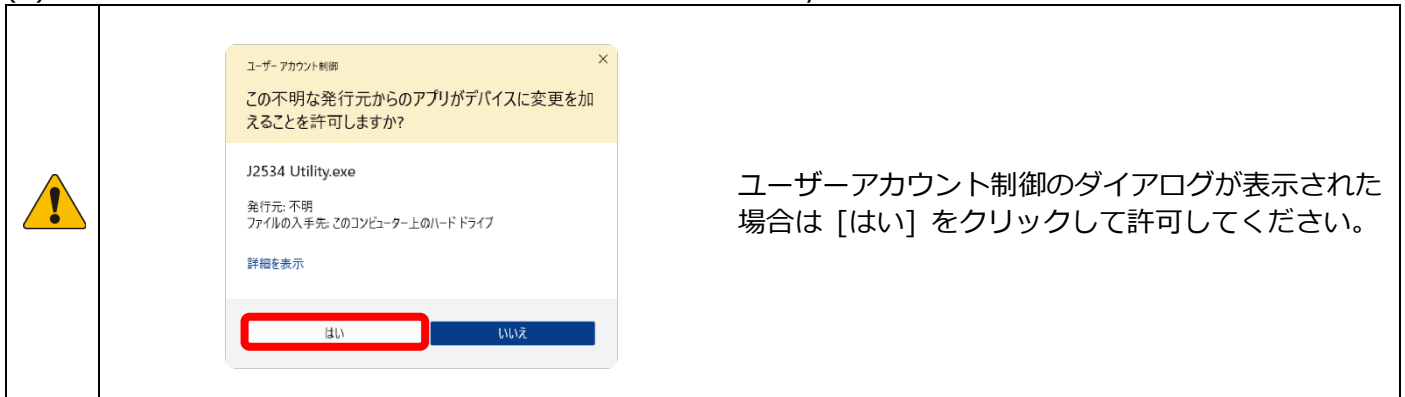
3-2. 本体を車両に接続

- (1) 車両のイグニッションスイッチが OFF であることを確認して本体を車両の OBD コネクタ (DLC) へ接続します。
- (2) 接続後、車両のイグニッションスイッチを ON または必要に応じてエンジンを始動してください。

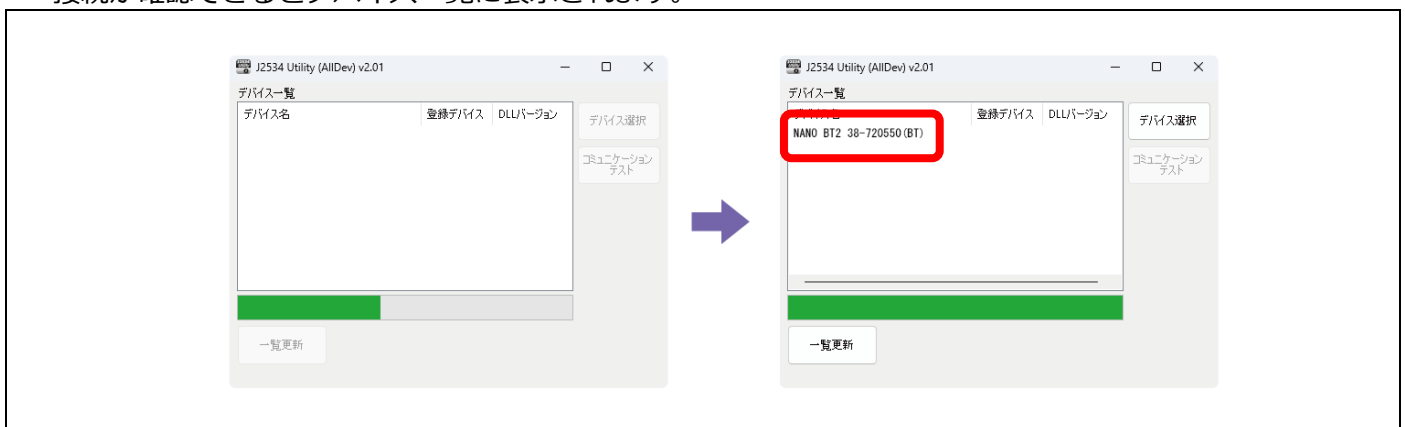


3-3. J2534 Utility の操作

(1) PC (またはタブレット) にインストールした「J2534 Utility」を起動します。



(2) 起動すると接続されている本体 (デバイス) の検索を開始します。
接続が確認できるとデバイス一覧に表示されます。



※本体とパソコンの接続方法によって以下のどちらかを選択してください。

[例]

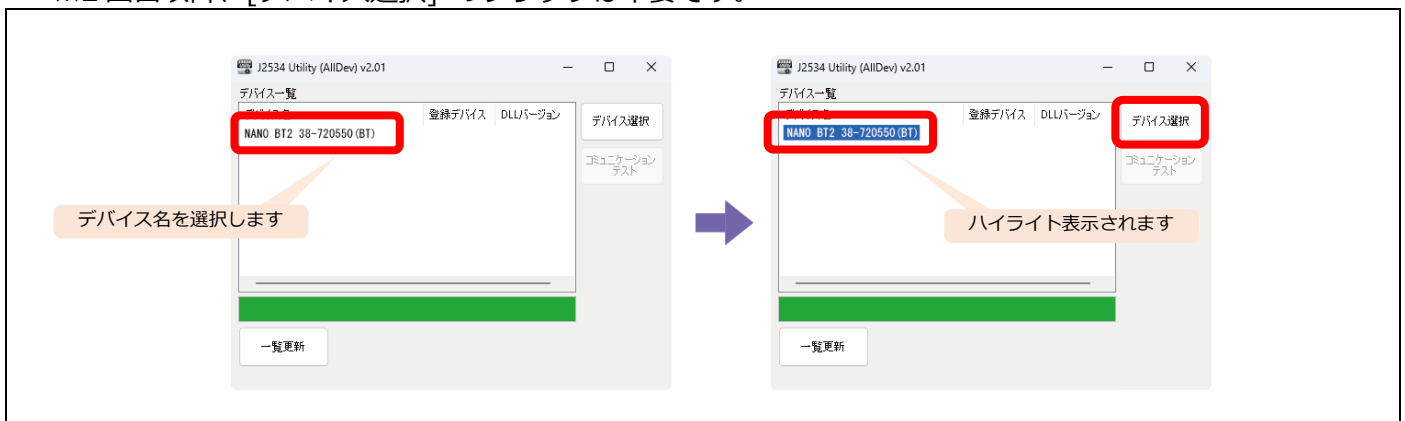
有線で接続した場合 : NANO BT2 38-720001 (USB)

無線で接続した場合 : NANO BT2 38-720001 (BT)

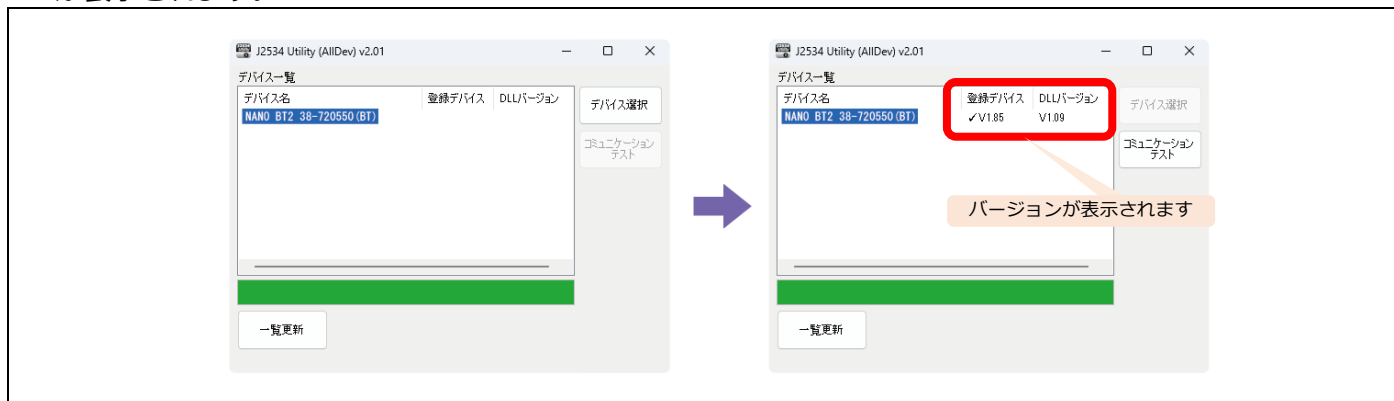
(3) 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認してください。

デバイス名をクリックして選択し [デバイス選択] をクリックします。

※2回目以降、[デバイス選択] のクリックは不要です。



(4) 接続された本体がデバイスとしての登録が成功すると、「登録デバイス」「DLLバージョン」欄にバージョンが表示されます。



表示のバージョンは以下の規格に該当します。
認定されているバージョンであることをご確認ください。



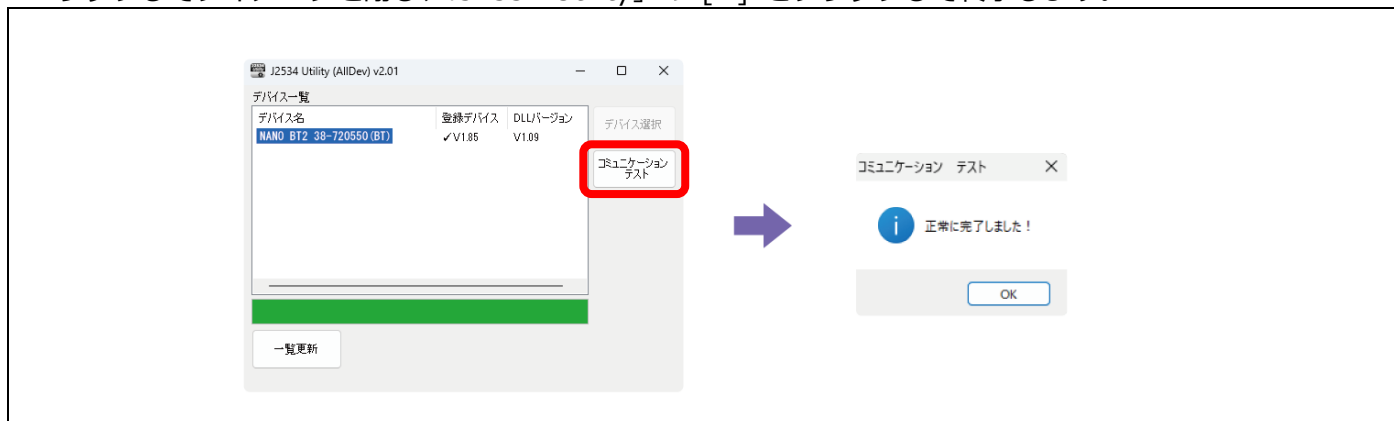
登録デバイス
✓V1.85

ファームウェアバージョン (V1.85)

DLLバージョン
V1.09

ドライバーバージョン (V1.09)

(5) デバイス名をクリックして選択し[コミュニケーションテスト]をクリックします。
コミュニケーションテストが完了すると「正常に完了しました！」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility」の [x] をクリックして終了します。



3-1. 特定 DTC アプリの起動

- (1) PC（またはタブレット）がインターネットに接続されている事を確認の上「特定 DTC 照会アプリ」を起動します。
- (2) 起動後、「OBD 検査」または「OBD 確認」を選択してください。

3-2. 車両情報入力 ならびに 検査要否確認

- (1) 検査する車両の車検証を確認の上「特定 DTC 照会アプリ」に車両情報の入力を行ってください。
- (2) 車両情報入力後、「検査要否確認」を選択し実行してください。

3-3. 本体の準備

【無線（Bluetooth）接続の場合】

- (1) PC（またはタブレット）の Bluetooth 設定を ON にしてください。

【有線接続の場合】

- (1) 本体底面のカバーを開いて、USB ポートに付属の USB Type C ケーブルを接続します。



- ・この時点では、まだ PC（またはタブレット）に接続しないでください。
接続順序を誤ると正常に動作しません。
- ・必ず付属の USB ケーブルを使用してください。

3-4. 本体を車両に接続

- (1) 車両のイグニッションスイッチが OFF である事を確認して本体を車両の OBD コネクタ（DLC）へ接続します。
- (2) 接続後、車両のイグニッションスイッチを ON または必要に応じてエンジンを始動してください。

3-5. PC（またはタブレット）に USB ケーブルを接続

※ 無線接続の場合、この作業は必要ありません。

- (1) 本体に接続された USB ケーブルを PC（またはタブレット）に接続します。



- ・ PC（またははタブレット）は対象の USB ポート（Type-A）が付いた機種、または変換アダプタをご用意ください。
- ・ 接続した本体やケーブルに手や足などをひっかかないように注意してください。



- ・ 接続は、必ず下記①②③の順で接続してください。
- ① 本体に USB Type C ケーブルを接続
 - ② 本体を車両に接続
 - ③ USB ケーブルを PC（またはタブレット）に接続

3-6. 「特定 DTC アプリ」検査（確認）実行

- (1) 「特定 DTC アプリ」の検査実行を選択してください。
「特定 DTC 照会アプリ」の上部メッセージ表示部が“検査用スキャンツール接続中”と表示された後、“ECU と通信中”に切り替わっていきます。
通信が完了すると「特定 DTC 照会アプリ」は“適合”または“不適合”のいずれかの結果を表示します。
- (2) 検査(確認)完了後は、本体を車両から取り外します。
有線接続の場合は、PC 側の USB ケーブルを取り外してから、本体を車両から取り外します。